

## 第2回検討会でいただいたご意見と「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）のあり方（素案）」への記載状況

ご意見	記載状況
<p>2. 我が国における資源循環を巡る経済・社会環境の変化と国内外の取組事例</p> <p>2（6）海外港湾におけるサーキュラーエコノミーの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外事例を記載しているが、歴史的な経緯や環境面への配慮についても記載を加えるべきではないか。</li> </ul>	<p>2.（6）を港湾に関する書きぶりに絞って修正した。なお、これ以上の深掘りに関しては、次年度以降の対応とさせていただきたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベストプラクティスを紹介しているが、これよりも港湾における施策がどのようにこのようなプロジェクトを生み出したのかという視点でまとめるべきではないか。</li> </ul>	
<p>2（7）国内港湾におけるサーキュラーエコノミーの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾分野における取り組みという視点でまとめるべきではないか。</li> </ul>	<p>2.（7）を港湾に関する書きぶりに絞って修正した。</p>
<p>3. サーキュラーエコノミーの推進において港湾に求められる役割</p> <p>3（2）循環資源の輸送にも波及する物流の2024年問題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環資源の流動に関する調査は、品目別の数量だけでなく輸送方法も調査するという記載を加えるべきではないか。</li> </ul>	<p>3.（1）②及び4.（3）①に記載した。</p>
<p>3（3）港湾・臨海部における取り扱いの増大が今後見込まれる主な循環資源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生砕石の運用の緩和について記載しているが、ぜひ進めてほしい。</li> </ul>	<p>検討会の場で事務局から承知の旨、回答した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾や海上輸送の視点でまとめた方が良い。「⑤ リチウムイオン電池」は、港湾がどのように関与するのが不明である。</li> </ul>	<p>リチウムイオン電池を含む新たな循環資源については、3.（3）④に記載した。品目毎の再資源化の動向を踏まえ、港湾の関わり方を引き続き検討していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・背後圏にある企業がリサイクルして生み出した財をどうしているかという点、価格によって売り先を変えている。資源の海外流出を止めることも記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>資源枯渇、調達リスクの度合いなどを勘案し、将来的に検討されるものであると考えている。</p>

ご意見	記載状況
<p>4. 今後の資源循環において港湾が目指すべき方向性</p> <p>4（１）基本的な方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルポートとサーキュラーエコノミーポートはどのような関係にあるのか。より明確に記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>4.（１）及び4.（２）に記載した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキュラーエコノミーポートとしての要件を記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>4.（２）で要件の基本的な考え方を例示した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキュラーエコノミーポートを拠点としてシンボリックな付加価値を生み出すプロジェクトを検討すべきではないか。</li> </ul>	<p>本検討会では港湾に求められる役割や今後の施策の方向性について取りまとめることとしており、具体的なプロジェクトについては、国としても港湾管理者や関係企業と連携して検討を進めているところ。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「循環資源」は運賃負担力が小さく、荷物を集めて大量に一括輸送することでコストを下げる必要がある。「循環資源」や「静脈物流」の特徴について丁寧に記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>3.（１）①に記載した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量輸送でコストを下げるためには、1つの港では難しいので、これから指定する「サーキュラーエコノミーポート同士の連携」や「共同輸送」についても記載を加えるべきではないか。</li> </ul>	<p>4.（２）に記載した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・足元でできることと中長期でできることを切り分けて記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>4. で速やかに着手可能な事項については検討する時期を明示した。</p>
<p>4（２）循環経済の海上輸送拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流の観点が薄いのではないか。陸送輸送や海上輸送の観点からの記載を加えるべきではないか。</li> </ul>	<p>4.（２）に記載した。</p>

ご意見	記載状況
<p>4（5）循環資源取扱施設の整備に対する支援制度の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にどのような見直しを行っていくのか記載すべきではないか。例えば「見直しの検討」の前に「港湾機能の高度化などの視点からの」を追記することが考えられる。</li> </ul>	<p>4．（3）③に記載した。</p>
<p>4（7）循環資源の流通のトレーサビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源制約の克服に向けては、国内で収集した循環資源を可能な限り国内で再生材として利用することが重要であることや、不適正なヤード事業者が良質な循環資源を海外に流出させているとの指摘もあるなか、循環資源のトレーサビリティ確保が重要。サーキュラーエコノミーポートの機能として、データ管理を行うことも重視すべき。</li> </ul>	<p>検討会の場で事務局より以下のように回答した。 別途開催されているヤード環境対策検討会等での検討を踏まえ、必要とあれば港湾でも可能な範囲で対応したい。</p>
<p>4（8）港湾へのリサイクル関連施設の誘致・集積</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高度な集積・分別・処理機能を持つこと」とあるが、どのように実現していくのかという点を議論していく必要がある。また、ここに「管理」という言葉もあった方がよいのではないか。</li> </ul>	<p>4．（3）⑥において、再資源化事業等高度化法に基づく認定等による資源循環の拠点構築の取組と連携する旨を記載した。「管理」について追記した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「規制緩和等のインセンティブ」に加え、施設整備にかかる支援についても記載すべきではないか。</li> </ul>	<p>4．（1）の後段に国の後押しを記載することをもってご指摘を踏まえているものと考えている。</p>